たかとりちどりだより

平成30年3月　第30号

たかとりちどり保育園

チューリップの芽が顔を出し春の訪れを感じる今日この頃です。子どもたちは昨年の春からいろいろなことを経験し、心も体も大きく成長しました。わくわく発表会の練習過程から本番までの子どもたちの様子を見てそう思いました。入園した頃に、はいはいをしていたあさひ組さんも今ではよちよち歩きができるようになり、いろんなところへ興味を持って歩けるようになりました。ひかり・にじ組さんも行動範囲が広くなり友だちを意識し関わることができるようになったり、言葉が増え会話も盛んになりごっこ遊びができるようになったりと、それぞれの年齢の１年間の成長を多々感じる日々でした。きりん・ぞうグループの子どもたちも異年齢での生活に慣れ、大きいお兄さんお姉さんに助けてもらいながら共に生活する中で、憧れを持つようになるなど兄弟のように過ごしています。また、もうすぐ卒園していくゆめ組さんに、小さい子の面倒をたくさん見てもらいました。特にほし・そら組さんは一緒にたくさん遊び、いつでも共に過ごしてきました。この１年間、色々な行事を無事終えることができましたのも保護者の方のご理解とご協力があってこそだと思います。ありがとうございました。

今月は１年の締めくくりの月でもあります。子どもたち一人ひとりが、進級、進学の喜びを持ち、安全で楽しく過ごせるように保育していきたいと思います。また、にじ組さんは今月から異年齢のグループに入る体験をしていき、４月からの生活に戸惑うことがないように配慮したいと思います。保護者の皆様のご理解ご協力を宜しくお願いいたします。　　越智　るみ子

楽しかった思い出 BEST３

様々な遊びやたくさんの行事を経験し、この１年で子どもたちはひと回りもふた回りも成長したように感じます。そこで今回は、ほしぐみ・そらぐみ・ゆめぐみの子どもたちに、「今年１番楽しかったことは何ですか？」と聞いてみました。

ほしぐみ
1位「わくわく発表会」
2位「プール遊び」
3位「お散歩」

そらぐみ
1位「プール遊び」
2位「わくわく発表会」
3位「芋ほり遠足」

ゆめぐみ
1位「ゆめっこデー」
「どうぶつ王国」
2位「5歳児交流会」
「よい子のつどい」

今年度は、「ゆめっこデー」などゆめぐみだけの行事ができたので、５歳児はお出かけすることも増えました。帰ってきた後には、そら・ほしぐみの子どもたちに嬉しそうに話をするゆめぐみさん。それを聞いて「おおきくなったらぼくたちもいく！」と、みんなとても楽しみにしているようです。これからも様々な遊びや行事を経験する中で、異年齢での関わりも大切にしながら、いろいろなことに興味・関心を持てるよう配慮していきたいと思います。　　岡本　理恵

あさひぐみ

先日のわくわく発表会では、初めての大舞台に泣いてしまう子どもがたくさんいて予定通りに進められないだろうと思っていたのですが、それぞれの可愛い姿を見せてくれました。また一つ成長した子どもたちに拍手ですね。

２月は気温の低い日が多く、室内で過ごす時間がたくさんありました。ひだまりでのサーキット遊びでは、マットで作った柔らかい山ではバランスを崩さないように上手に登ったり、ハシゴでは足を高く上げて跨いで歩いたりと逞しい姿を見せていました。また食べることが大好きな子どもたちは、食事の時間になると自分の席が分かり座りに行き、小さな手でスプーンを持ち一生懸命にすくって食べています。自分でしようとする思いを認めて、こぼれても、ぐちゃぐちゃになっても自分で食べられた満足感を味わえるようにしています。

あさひ組で過ごすのもあと１ヶ月になりました。今月はひかり保育室で過ごす機会を持ち、安心して新年度へ移行できるようにしていきます。またお天気のよい日には近くの公園まで歩いて散歩に行こうと計画中です。

たくさんの初めての経験と共にぐんぐん大きくなった子どもたちです。その一つひとつを側で見守ることが出来てたくさんのパワーをもらい、１年間楽しく過ごせました。それも保護者の皆様のご理解とご協力があったからこそだと感謝しています。ありがとうございました。

春名　美和

ひかりぐみ

早いもので、ひかりぐみで過ごすのも残り１ヶ月となりました。春にはまだまだ赤ちゃんらしさが残っていた子どもたち。この１年でいろいろとできることが増えて、心身共にうんと大きく成長しました。遊びの面では、子ども同士で同じ遊びをすることが多くなってきました。「いっしょにしよー」「たかくしよっかー」と誘い合い、積み木でトンネルや塔を作ったり、ドミノ倒しをしたりする姿が見られるようになりました。崩れてしまうこともありますが、「もっかいしよー」と言い、再チャレンジ!!繰り返し楽しんでいます。高く積みあがると「みてっ！！」と満面の笑みを見せています。

自分で着替えることを意欲的に頑張っている子どもたちですが、最近では、着脱だけでなく、脱いだ服をたたむことにも興味をもっています。言葉をかけたり、手を添えたりすると「こぅ？」「ぱったん」と言いながら、たたもうとするようになってきました。引き続き、一人ひとりに合わせた援助を行い、身の回りのことを自分でする意識を高めていきたいと思います。

子どもたちと過ごす中で、一人ひとりの成長をそばで感じ、また、お家の方とその喜びを共感できたことを嬉しく思っています。残り１ヶ月、子どもたちがひとつ大きくなるという喜びを感じ、笑顔いっぱい過ごせるように一人ひとりと丁寧に関わっていきます。最後になりましたが、この１年間、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

谷川　美里

３月の予定

ひなまつり会	２日（金）	体育あそび	８日・１５日（木）
お別れ遠足	９日（金）	誕生会	１２日（月）
卒園式	２０日（火）	お別れ会	２８日（水）
発育測定	２６日（月）～２８日（水）		

※避難訓練は、日時不明の設定で行います。

★新年度の準備をしますので、30 日にロッカーの着替えなどをすべてお持ち帰りください。

にじぐみ

劇遊びでは、可愛らしい言葉や、動きなど、表現遊びの楽しさや面白さを味わっていた子どもたち。やぎやトロルになってのびのびと身体を動かし、たくさんの笑顔の花が咲いています。動きで表現する事はもちろんですが、言葉の表現も豊かになっています。自分の気持ちを伝えられた時の喜びは本当に大きく、一人ひとりの自信に繋がっています。子どもたちから「たのしかった！もういっかいしよう」と言葉が返ってくるほど、「３びきのやぎのがらがらどん」を気に入って遊んできました。これからも身体を動かし表現する喜びを味わえるように一緒に遊び楽しんでいきたいと思います。

生活面では、２月から手拭きタオル・コップを鞄に入れて帰りの用意を始めました。最初は、片づけることを忘れて遊ぼうとする子ももいましたが、保育士が言葉を掛けることで気づいて身の回りのことをしようとする姿が見られるようになってきました。

にじ組で過ごすのもあと１ヶ月になりました。進級に向けて大きくなることへの喜びを感じられるように年上の友だちと遊ぶ機会を今以上に増やしたいと考えています。たくさんの友だちと生活をし、一緒に遊ぶことで、友だちとの関わりを楽しみながら、期待を抱けるようにしていきたいと思います。この１年間、保護者の方と一緒に子どもたちの成長を側で見守ることができ嬉しく思います。ご理解ご協力ありがとうございました。　　佐伯　紗羅

きりんグループ

身支度や身の回りの整理は身に付いている子どもたちです。また、給食時ご飯をこぼしたり床に落としたりすると、「せんせい、こぼれたからふくね！」と、自分で始末する姿が見られます。自分のことは自分で、という習慣が付いてきているな、と感じています。これからも進んで行う姿を認めながら、見通しを持ち生活できるようにすると共に、生活習慣に関しても一人ひとり丁寧に見守り、配慮していこうと思います。

朝のお集りの時間に、みんなで５０音の順番に沿って言葉を考える言葉遊びをしています。「あ」であれば、「アイス」や「あり」等、知っている言葉を考えたり、部屋に貼ってあるあいうえお表を見たりして言葉を言い合います。多い時では３０個以上出ることもあります。もうないかな、と言う時でも保育士がヒントを出すと、「わかった～！」と嬉しそうに答えています。今後も文字に興味を持てるように、このような簡単な言葉遊びを行っていきたいと考えています。

３月は、きりんグループで過ごす最後の月になります。子どもたちと、１年間の楽しかったことや思い出を振り返りながら１年の締めくくりをしていこうと思います。この１年間、たくさんのご理解とご協力をいただきありがとうございました。残りの１ヶ月もよろしくお願いいたします。　　中丁　紗穂

ぞうグループ

先月は「のりもの」をテーマに絵を描いたり、表現遊びやのりものづくりをしたりして楽しみました。保育士が「どんな乗り物があるかな？」と聞くと、「じょうききかんしゃ～」「おふねもあるし～ヘリこぷたーもあるよ～」と知っている乗り物をどんどんと伝え合う子どもたち。乗り物づくりでは、ティッシュの箱やトイレットペーパー、ガムテープの芯を使って「ここにタイヤをつけよう～」「こうしたらはしりやすいかな～？」と工夫をこらして作る姿が多く見られました。完成すると、「３・２・１はっしゃ～しゅっぱつ～」と言って走らす事も楽しんでいました。

食べることが大好きなぞうグループの子どもたち。「きょうのきゅうしょくはなに？」と給食の時間を楽しみにする声が多く聞かれます。その中で、ただ“食べる”だけでなくなぜ食べる事が大切なのかや食べ物はどこからきているのかについてその都度子どもたちに話をする事で、食の大切さについてもしっかりと考える姿が増えてきています。

この１年間を通して、”自分のことは自分で””しっかりと考える”という力が高まり、ひとまわりもふたまわりも大きく成長した事を嬉しく思います。今月は、子どもたちと一緒に１年間を振り返る時間を大切にすると共に、５歳児は小学校へ、４歳児はゆめぐみへ、３歳児はそらぐみへと進学・進級する事について考え「ひとつ大きくなる」という喜びが十分に感じられるようにしたいと思います。１年間ご理解とご協力をいただきありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。　　長田　麻里